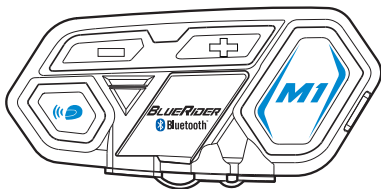
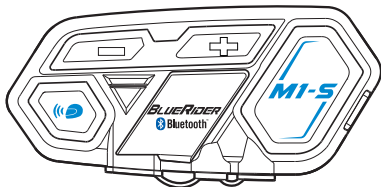


DiMTON

BLUERIDER

M1-S (EVO)

M1 (EVO)



操作マニュアル

目次

操作について

注意事項	1
外観について	2
充電とバッテリー残量のガイダンス	4
バッテリー残量検知音声	5
音声ガイダンスの音量調整	5
電源のオンとオフ	6
Bluetoothのペアリングモードについて	7
Bluetoothとスマートフォンのペアリング	9
電話機能	10
音声入力機能	12
スマートフォンの音楽の操作	13
ペアリング履歴の消去とハードウェアのリセット	14
有線オーディオ入力と無線通信	15
使用シーン-1	16
使用シーン-2	17
使用シーン-3	19
グループ通話-方法1	21
グループ通話-方法2	24
他のヘッドセットとの接続	27
ヘッドセットソフトウェアのアップデート	28

取り付けについて

アクセサリー内容	31
スピーカーの取り付け	32
マイクの取り付け	34
本体の取り付け (M1/M1-Sスナップ)	36
本体の取り付け (EVO-裏面クリップ)	40
本体の取り付け (EVO-金属クリップ)	43
お問い合わせ	46

DIMTON（鼎騰科技）の製品をご利用いただきありがとうございます。最高の品質でご使用いただけるよう、以下の説明をよくお読みください。ご使用上の警告に従わず製品の破損や怪我が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

使用時の音量にご注意ください

長時間大音量で聞き続けると聴力の低下を引き起こしやすくなります。運転時は周りの音が聞こえなくならないよう音量に注意してください。大音量で使用了ることにより人命や財産の損失が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

保証について

当社製品のご購入日から、本体は1年間、ケーブル類は半年間の保証サービスがごございます。ただし、正しくご利用いただいた状況での破損に限ります。人為的または予測不可能な方法で製品を分解、改造、破壊、修理するなどし、本体裏面のシリアル番号コードや認証ラベルが剥がされた場合、当社が提供するメンテナンス保証サービスを放棄したものとみなします。また、該当の製品をメンテナンスするかにつきましては当社が判断できるものとします。製品に何か異常がある場合はすぐに使用をやめ、当社にご連絡ください。

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二条 ロー・パワーRFデバイスで形式が認証されているものについて、会社、企業、個人は許可なくその周波数を変更、増加または既存の設計の特性と機能を変更してはならない。

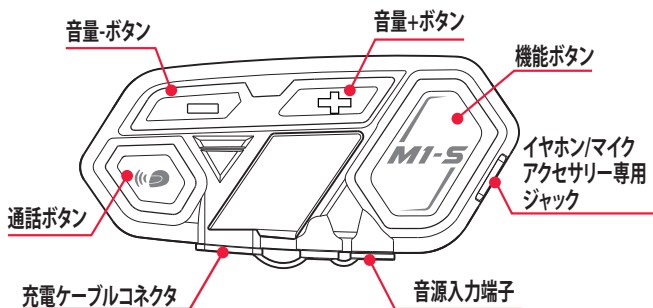
第十四条 ロー・パワーRFの使用時、航空機の安全に影響を与えたり、合法的な通信に干渉したりしてはならない。干渉を発見した場合はすぐに使用をやめ、干渉しないように改善した後で引き続き使用できる。

前項の合法的な通信とは電信法に従って行われる無線通信を指す。

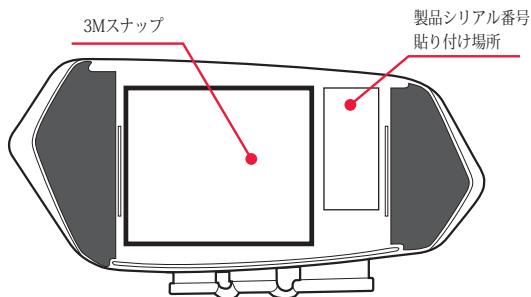
ロー・パワーRFは、合法的な通信、工業、科学、医療において電波を放射する電気設備の干渉に耐えうるものでなければならない。

外観について

M1/M1-Sシリーズ

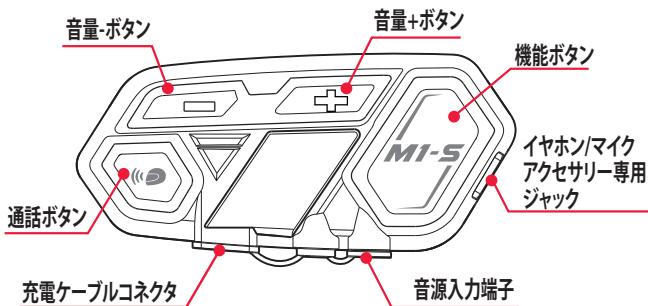


表面



裏面

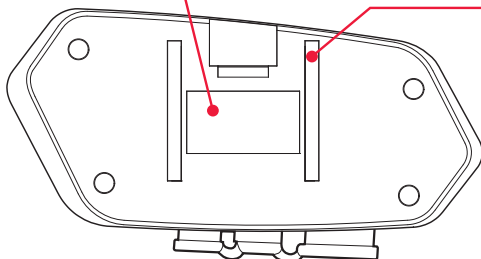
EVOシリーズ



表面

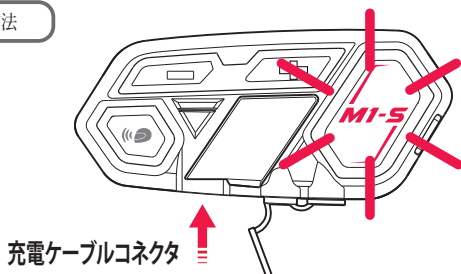
製品シリアル番号貼り付け場所

留め具固定スロット



裏面

充電方法



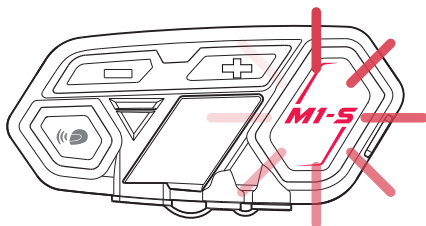
はじめてのご使用前に、赤ランプが消灯するまで充電することをおすすめします。

1.充電ケーブルを充電コネクタに挿し、もう一方の端をコンピュータのUSBポートに挿します。

*5Vの充電アダプタまたはコンピュータ、モバイルバッテリーで充電してください。カーチャージャーや非純正品の充電アダプタを使用しないでください。不安定なサージ電圧により製品が破損します。

2.電源に接続すると機能ボタンに赤ランプが点灯します。充電が完了するとランプが消灯します。充電時間は約2時間です。(バッテリー残量により増減します)

バッテリー残量が少ない時の音声ガイダンス

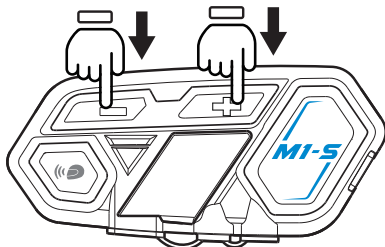


バッテリー残量が10%未満になると、機能ボタンに赤ランプが点滅し、「バッテリー残量が10%未満です。できるだけ早く充電してください。」という音声ガイダンスが流れます。

バッテリー残量検知音声/音声ガイダンスの音量調整

バッテリー残量検知音声

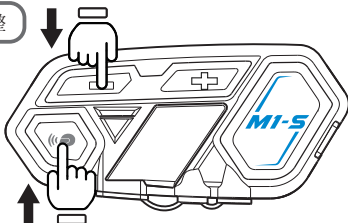
+ボタンと-ボタンを同時に短く押し



電源がオンの状態で音量+ボタンと音量-ボタンを同時に短く1回押すと、ヘッドセットのバッテリー残量をお知らせします。バッテリー残量に応じて以下の音声ガイダンスが流れます。

1. バッテリー残量90%以上の音声ガイダンス-バッテリー残量は90%以上です。
2. バッテリー残量90%以下、50%以上の音声ガイダンス-バッテリー残量は50%以上です。
3. バッテリー残量50%以下、10%以上の音声ガイダンス-バッテリー残量は50%未満です。
4. バッテリー残量10%以下の音声ガイダンス-バッテリー残量が10%未満です。できるだけ早く充電してください。

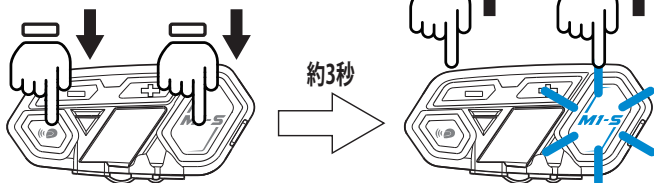
音声ガイダンスの音量調整



スタンバイ状況で通話ボタンと-ボタンをビープ音が鳴るまで長押しすると、+と-ボタンで音声ガイダンスの音量を調整できます。+と-ボタンを短く押すと、音量を確認できます。音量の確認後、もう一度通話ボタンと-ボタンをビープ音が鳴るまで長押しすると設定が完了します。

電源のオンとオフ

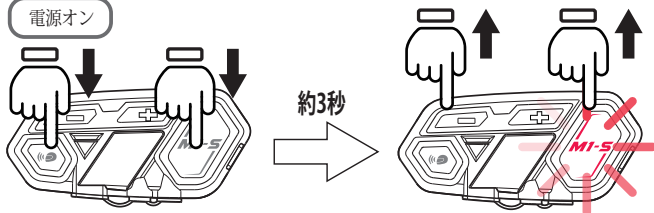
電源オン



1:電源オン:機能ボタンと通話ボタンを同時に約3秒押し続け、機能ボタンに「青ランプ」が点滅したら放します。同時に「BlueRiderBluetooth通信システムへようこそ」という音声ガイダンスが流れます。

*Bluetoothヘッドセットの電源がオンになってから3分以内にBluetoothと接続されないと自動的に電源がオフになります。

電源オン



2:電源オフ:

電源がオンの状態で機能ボタンと通話ボタンを同時に約3秒押し続け、機能ボタンに「赤ランプ」が点滅したら放します。同時にバッテリー残量が検知され、それぞれに応じた3種類の音声ガイダンスが流れます。

音声ガイダンスの内容は以下のとおりです。

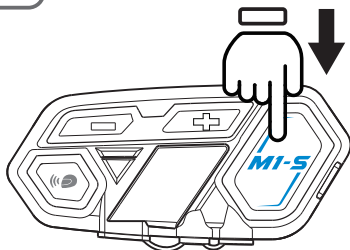
- 1.バッテリー残量100%-50%以上:電源をオフにします。
- 2.バッテリー残量50%以下、10%以上:電源をオフにします。バッテリー残量が50%未満です。充電してください。
- 3.バッテリー残量10%以下:電源をオフにします。バッテリー残量が10%未満です。できるだけ早く充電してください。

Bluetoothのペアリングモードについて

製品はペアリングするデバイスの種類に応じて異なるペアリングモードを起動し、ペアリングすることができます。2種類のペアリングモードを起動させる方法を以下で説明します。

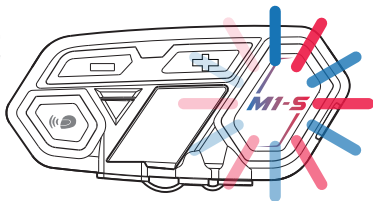
パッシブサーチモード

ステップ 1



スタンバイ状態で機能ボタンを5秒長押しすると、

ステップ 2

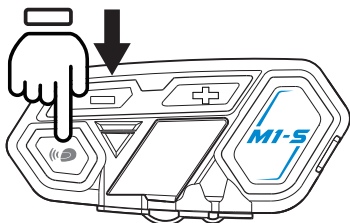


赤と青のランプが素早く点滅しパッシブペアリングモードになります。

スタンバイ状態で機能ボタンを5秒長押しし、メインボタンが赤と青に素早く点滅(赤と青の点滅間隔は0.5秒)するとパッシブサーチモードになり、「ペアリング」の音声ガイダンスが流れます。

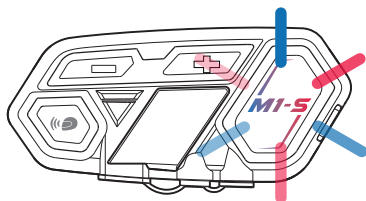
アクティブサーチモード

ステップ 1



スタンバイ状態で通話ボタンを5秒長押しすると、

ステップ 2



赤と青のランプがゆっくり点滅し、アクティブペアリングモードになります。

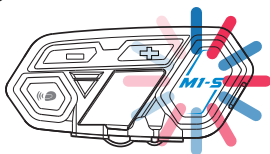
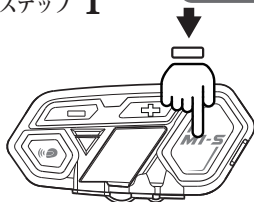
スタンバイ状態で通話ボタンを5秒長押しし、メインボタンが赤と青にゆっくり点滅(赤と青の点滅間隔は1秒)するとアクティブサーチモードになり、「ピープ音」が鳴ります。

Bluetoothとスマートフォンのペアリング

スマートフォンとのペアリング

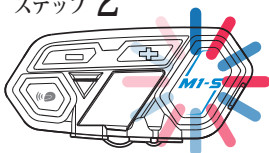
ステップ 1

5秒以上長押しする



電源がオンの状態で機能ボタンを5秒長押しすると機能ボタンが赤と青に点滅しペアリングモードになります。

ステップ 2



デバイスのペアリング

名前

BLUERIDER M1-S

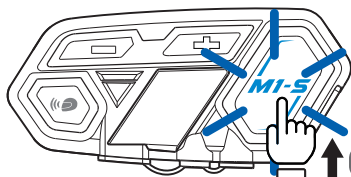
使用

- ☒ スマートフォンの音声
- ☒ メディアの音声

スマートフォンのBluetoothをオンにして利用可能なデバイスを検索すると、BLUERIDER M1またはM1-SのBluetoothデバイスが検出され、タップするとペアリングが始まります。ペアリングが完了すると接続完了の音声ガイダンスが流れ、本体の機能ボタンがゆっくりした青ランプの点滅に変わります。

電話機能

応答する/通話を終了する

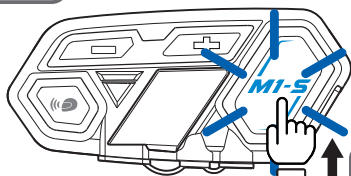


1回押して応答/終了

ヘッドセットはデフォルトで手動応答になっています。スマートフォンに着信があるとヘッドセットから着信音が鳴り、同時に機能ボタンに赤ランプが点滅します。機能ボタンを短く押すと応答できます。通話を終了する場合は、もう一度機能ボタンを短く1回押します。

着信中に音量+または音量-を押すと着信音の音量を調整できます。

電話をかけ直す

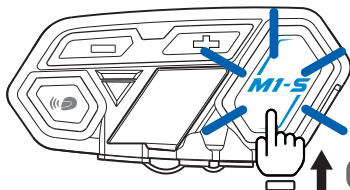


2回押して最後に発信した電話番号にかけ直す

ヘッドセットがスタンバイの状態でも機能ボタンを短く2回押すと、スマートフォンから最後に発信した電話番号に自動的にリダイヤルし、同時にヘッドセットに青ランプが点滅します。

*リダイヤルできるのはスマートフォンから最後に発信した電話番号のみです。

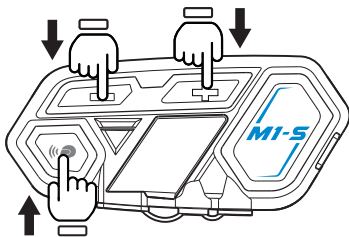
着信の拒否



機能ボタンを2秒長押しします。

電話の着信中に機能ボタンを2秒長押しすると着信を拒否できます。

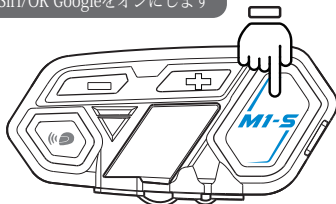
自動応答／手動応答の切り替え



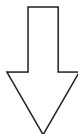
スタンバイ時、通話ボタン、音量+、音量-を3秒以上同時に長押しし、ピープ音が1回鳴ると自動応答、2回鳴ると手動応答になります。

音声入力機能

1回タップしてSiri/OK Googleをオンにします



スマートフォンの音声を
自動的にオンにする
入力機能



Bluetoothヘッドセットとスマートフォンをペアリングした後、スタンバイ状態で「機能ボタン」を短く1回押すとスマートフォンの音声機能がオンになります。

Androidのスマートフォン:OK Googleオン

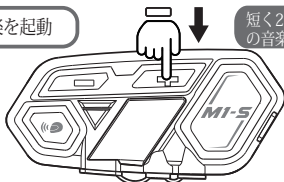
iPhoneのスマートフォン:Siriオン

*スマートフォンの本体が音声機能に対応している必要があります。

スマートフォンの音楽の操作

スマートフォンの音楽を起動

短く2回押してスマートフォンの音楽を起動



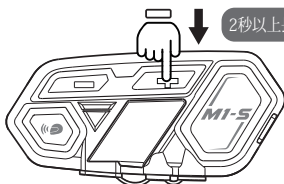
スマートフォンとヘッドセットをペアリングした後、スタンバイ状態で音量+を短く2回押すと、スマートフォンの音楽が起動します。

スマートフォンの音楽の一時停止

スマートフォンの音楽再生中に音量+を短く2回押すとスマートフォンの音楽が一時停止します。

前の曲を再生

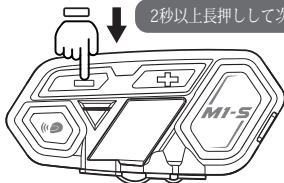
2秒以上長押しして前の曲を再生



スマートフォンの音楽再生中に、音量+を2秒長押しすると前の曲が再生されます。

次の曲

2秒以上長押しして次の曲

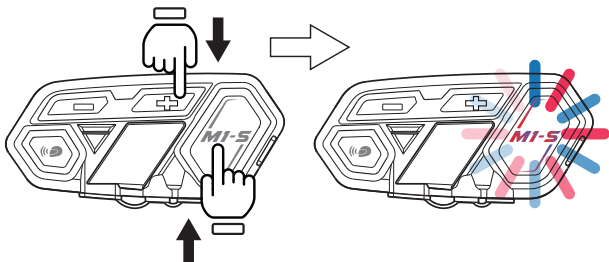


スマートフォンの音楽再生中に音量-を2秒長押しすると、次の曲が再生されます。

ペアリング履歴の消去とハードウェアのリセット

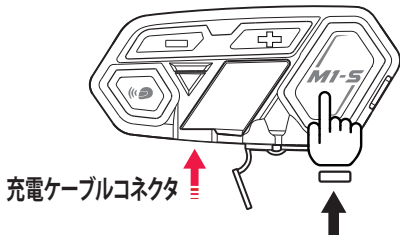
ペアリング履歴をクリアする

メインボタンと+ボタンを同時に5秒以上長押しする



スタンバイ状態でメインボタンと+ボタンを同時に5秒以上長押しすると機能ボタンが赤と青に点滅し、本体のBluetoothペアリング履歴がクリアされます。

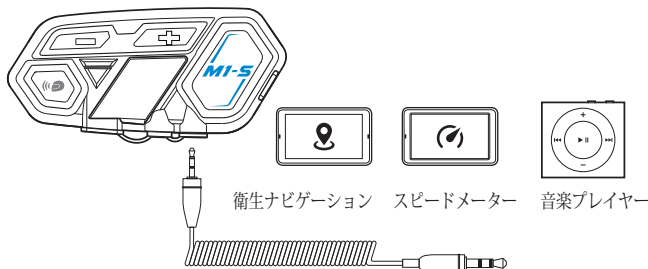
ハードウェアをリセットする



電源をオフにする時、メインボタンを押したままにし、充電ケーブルに電流が流れている状態でUSBポートに充電ケーブルを挿し、その後抜くとハードウェアリセットのセットが完了します。

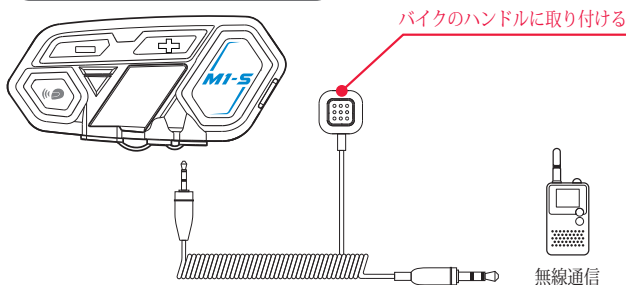
有線オーディオ入力と無線通信

オーディオケーブルの使用



3.5音声出力ポートがあるすべてのデバイスは、当社専用のオーディオケーブルで音声を受信し、Bluetoothヘッドセットで聞くことができます。

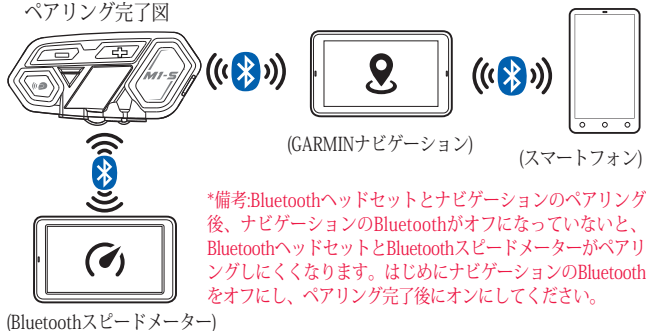
無線通信専用ケーブルの使用(別売り)



また、当社の無線通信専用ケーブルで、無線通信とBluetoothヘッドセットを接続することもできます。無線通信専用ケーブルにはボタンがあり、バイクのハンドルに取り付けてボタンを押すとプッシュ・トゥ・トーク(PTT)を送信できます。

使用シーン-1 一人で使用、スマートフォン+Bluetoothナビゲーション
+Bluetoothスピードメーター

ペアリング完了図



(GARMINナビゲーション)



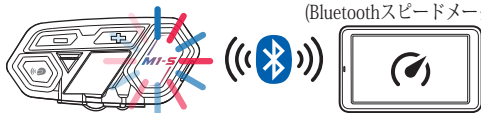
ステップ1:はじめにGARMINナビゲーションBluetoothとスマートフォンBluetoothをペアリングします。

(GARMINナビゲーション)



ステップ2:次にBluetoothヘッドセットとGARMINナビゲーションをペアリングします。(ペアリングが完了したら先にGARMINナビゲーションBluetoothをオフにしてください)

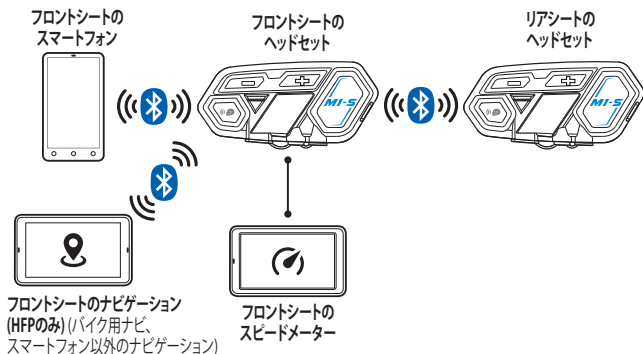
(Bluetoothスピードメーター)



ステップ3:最後にBluetoothヘッドセットとBluetoothスピードメーターをペアリングし、GARMINナビゲーションBluetoothをオンにすると、スマートフォン、ナビゲーション、スピードメーターが同時に使用できるようになります。

使用シーン-2 二人で通話+スマートフォン+Bluetoothナビゲーション
(スマートフォンナビゲーションまたはGARMEなし)+Bluetoothスピー
ドメーター。(有線入力)

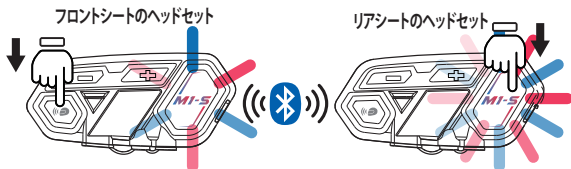
ペアリング完成図



ペアリング方法について:

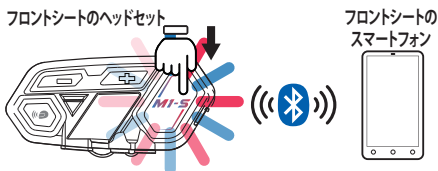
ステップ1.

フロントシートのBluetoothヘッドセットのアクティブサーチモードをオンにし、リアシートのヘッドセットのパッシブサーチモードをオンにし、フロント・リアシート両方のヘッドセット赤と青のランプの点滅が停止したら、通話のペアリングは完了です。



ステップ2.

フロントシートのBluetoothヘッドセットのパッシブサーチモードをオンにし、スマートフォンでフロントシートのBluetoothヘッドセットを検索します。スマートフォンとペアリングされれば、スマートフォンとのペアリングは完了です。



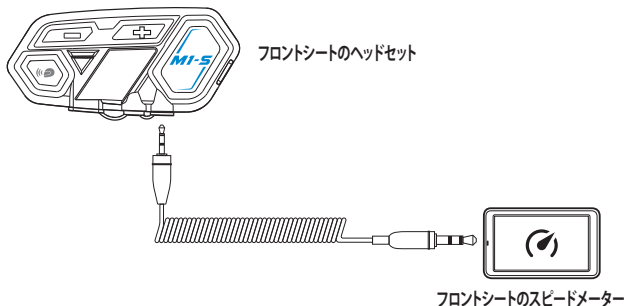
ステップ3.

フロントシートのBluetoothヘッドセットのパッシブサーチモードをオンにし、ナビゲーションでフロントシートのBluetoothヘッドセットを検索します。ナビゲーションとペアリングされれば、ナビゲーションとのペアリングは完了です。



ステップ4.

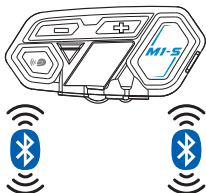
2.5→3.5オーディオケーブルで、スピードメーターとフロントシートのBluetoothヘッドセットを接続すると、音声統合が完了します。



使用シーン-3 二人で通話+フロントシートにスマートフォン+Bluetoothナビゲーション(スマートフォンナビゲーションまたはGARMEなし)、リアシートにヘッドセット+Bluetoothスピードメーターを接続。

ペアリング完成図

フロントシートのヘッドセット

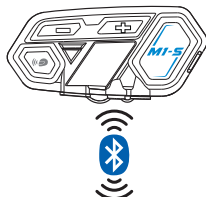


フロントシートのナビゲーション
(HFPのみ) (パイク用ナビ、
スマートフォン以外のナビゲーション)



フロントシートのスマートフォン

リアシートのヘッドセット



リアシートのスピードメーター

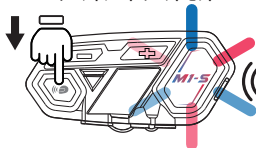


ペアリング方法について:

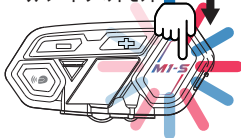
ステップ1.

フロントシートのBluetoothヘッドセットのアクティブサーチモードをオンにし、リアシートのヘッドセットのパッシブサーチモードをオンにし、フロント・リアシート両方のヘッドセット赤と青のランプの点滅が停止したら、通話のペアリングは完了です。

フロントシートのヘッドセット

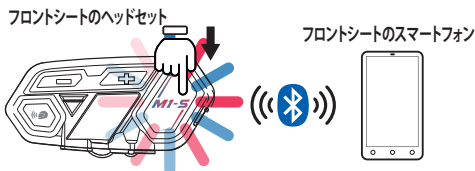


リアシートのヘッドセット



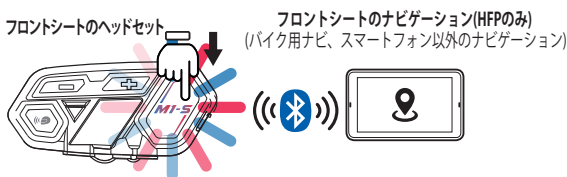
ステップ2.

フロントシートのBluetoothヘッドセットのパスシブサーチモードをオンにし、スマートフォンでフロントシートのBluetoothヘッドセットを検索します。スマートフォンとペアリングされれば、スマートフォンとのペアリングは完了です。



ステップ3.

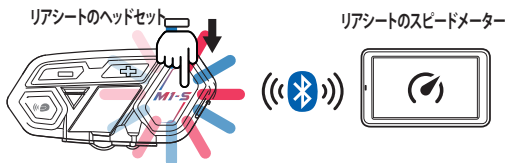
フロントシートのBluetoothヘッドセットのパスシブサーチモードをオンにし、ナビゲーションを使用してフロントシートのBluetoothヘッドセットを検索します。ナビゲーションとペアリングされれば、ナビゲーションとのペアリングは完了です。



ステップ4.

リアシートのBluetoothヘッドセットのパスシブサーチモードをオンにし、BluetoothスピードメーターでフロントシートのBluetoothヘッドセットを検索します。Bluetoothスピードメーターとペアリングされれば、ナビゲーションとのペアリングは完了です。

備考:2台のヘッドセットがオフになった後に再度通話する場合、はじめにフロントシートからペアリングしてください。通話ボタンを押して通話すると、音声の共有ができます。

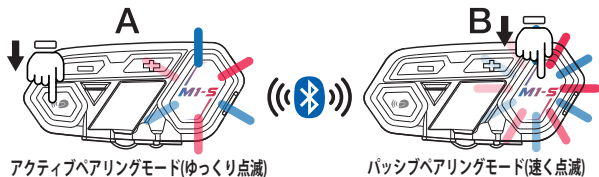


ペアリング完了図



ステップ1.

ヘッドセットA、Bがスタンバイ状態で、ヘッドセットAの通話ボタンを長押しするとアクティブサーチモードになります。次にヘッドセットBのメインボタンを長押しするとパッシブサーチモードになり、両方の通話ボタンが点灯したらペアリング完了です。



この時、A、Bの2台のペアリングが完了し、同時にA、Bの通話がオンになります。先にBの通話ボタンを押して通話を終了し、引き続き次のステップに進み、ヘッドセットCをペアリングしてください。

ステップ2.

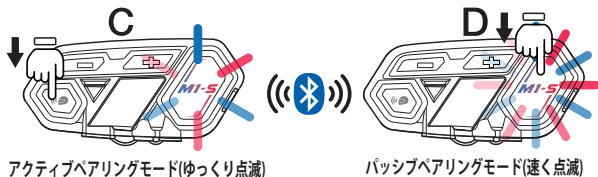
ヘッドセットB、Cがスタンバイ状態で、ヘッドセットBの通話ボタンを長押しするとアクティブサーチモードになります。次にヘッドセットCのメインボタンを長押しするとパッシブサーチモードになり、両方の通話ボタンが点灯したらペアリング完了です。



この時、A、B、Cの3台のペアリングが完了し、同時にB、Cの通話がオンになります。先にCの通話ボタンを押して通話を終了し、引き続き次のステップに進み、ヘッドセットDをペアリングしてください。

ステップ3.

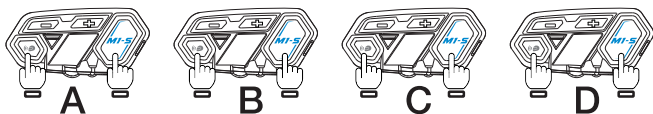
ヘッドセットC、Dがスタンバイ状態で、ヘッドセットCの通話ボタンを長押しするとアクティブサーチモードになります。次にヘッドセットDのメインボタンを長押しするとパッシブサーチモードになり、両方の通話ボタンが点灯したらペアリング完了です。



この時、A、B、C、Dの3台のペアリングが完了し、同時にC、Dの通話がオンになります。先にDの通話ボタンを押して通話を終了してください。

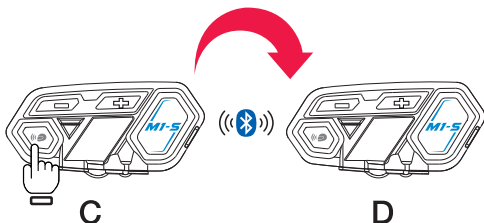
ステップ4.

A、B、C、Dすべてをオフにして10秒待ちます。



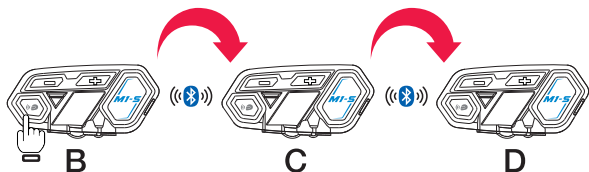
ステップ5.

C、Dの電源をオンにしてC本体の通話ボタンを押すとC、Dの通話がオンになり、C、Dの通話ランプがゆっくり点滅します。



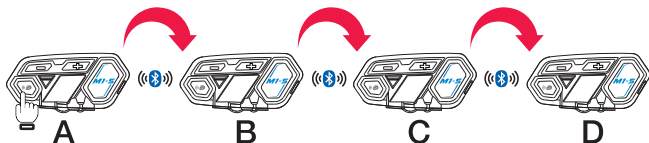
ステップ6.

Bの電源をオンにしてB本体の通話ボタンを押すと、B、C、Dの通話がオンになり、B、C、Dの通話ランプがゆっくり点滅します。



ステップ7.

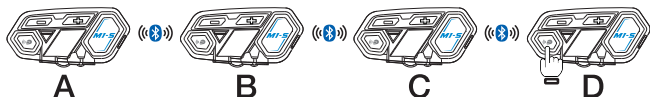
Aの電源をオンにしてA本体の通話ボタンを押すとA、B、C、Dの通話がオンになり、A、B、C、Dの通話ランプがゆっくり点滅します。



通話が完了したら、先にペアリングしたデバイス(スマートフォン、Bluetoothナビゲーション、Bluetoothスピードメーターなど)をオンにできます。最大で8台まで本体を接続できます。

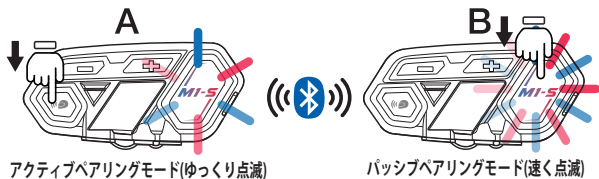
外付けのナビゲーションまたはスピードメーターを使用する場合、デバイスをヘッドセットAに接続すると、音声ファイルフォーマットがある外付けデバイスであれば、A、B、C、Dすべてで外付けデバイスの音声情報を受信することができます。

ペアリング完成図



ステップ1.

ヘッドセットA、Bがスタンバイ状態で、ヘッドセットAの通話ボタンを長押しするとアクティブサーチモードになります。次にヘッドセットBのメインボタンを長押しするとパッシブサーチモードになり、両方の通話ボタンが点灯したらペアリング完了です。



この時、A、Bの2台のペアリングが完了し、同時にA、Bの通話がオンになります。先にBの通話ボタンを押して通話を終了し、引き続き次のステップに進み、ヘッドセットCをペアリングしてください。

ステップ2.

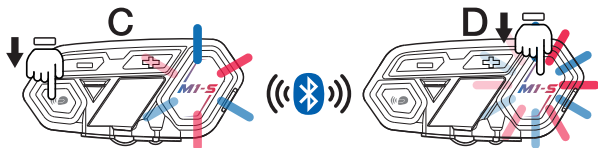
ヘッドセットB、Cがスタンバイ状態で、ヘッドセットBの通話ボタンを長押しするとアクティブサーチモードになります。次にヘッドセットCのメインボタンを長押しするとパッシブサーチモードになり、両方の通話ボタンが点灯したらペアリング完了です。



この時、A、B、Cの3台のペアリングが完了し、同時にB、Cの通話がオンになります。先にCの通話ボタンを押して通話を終了し、引き続き次のステップに進み、ヘッドセットDをペアリングしてください。

ステップ3.

ヘッドセットC、Dがスタンバイ状態で、ヘッドセットCの通話ボタンを長押しするとアクティブサーチモードになります。次にヘッドセットDのメインボタンを長押しするとパッシブサーチモードになり、両方の通話ボタンが点灯したらペアリング完了です。



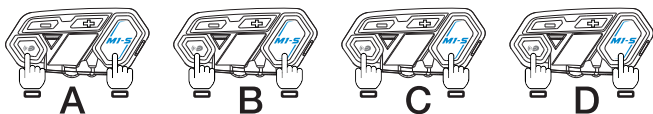
アクティブペアリングモード(ゆっくり点滅)

パッシブペアリングモード(速く点滅)

この時、A、B、C、Dの3台のペアリングが完了し、同時にC、Dの通話がオンになります。先にDの通話ボタンを押して通話を終了してください。

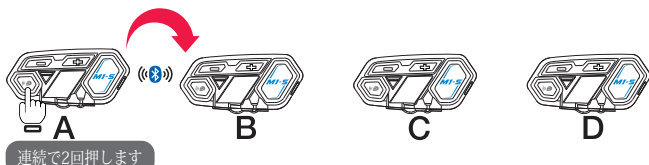
ステップ4.

A、B、C、Dすべてをオフにし10秒待ちます。



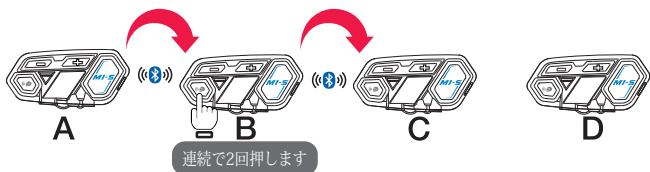
ステップ5.

すべての本体の電源をオンにし、A本体の通話ボタンを連続で2回押すと、A、Bの通話がオンになり、A、Bの通話ランプがゆっくり点滅します。



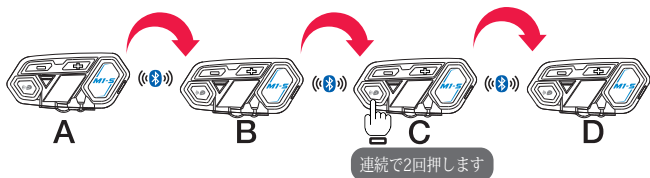
ステップ6.

B本体の通話ボタンを連続で2回押すと、A、B、Cの通話がオンになり、A、B、Cの通話ランプがゆっくり点滅します。



ステップ7.

C本体の通話ボタンを連続で2回押すと、A、B、C、Dの通話がオンになり、A、B、C、Dの通話ランプがゆっくり点滅します。



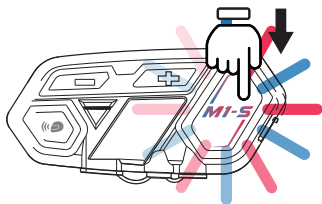
通話が完了したら、先にペアリングしたデバイス(スマートフォン、Bluetoothナビゲーション、Bluetoothスピードメーターなど)をオンにできます。最大で8台まで本体を接続できます。

外付けのナビゲーションまたはスピードメーターを使用する場合、デバイスをヘッドセットAに接続すると、音声ファイルフォーマットがある外付けデバイスであれば、A、B、C、Dすべてで外付けデバイスの音声情報を受信することができます。

他のヘッドセットと接続

他社製品のヘッドセットを接続する

5秒以上長押しする

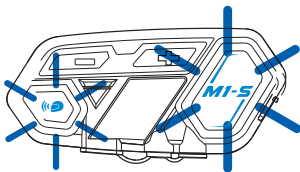


ステップ1:

M1シリーズヘッドセットのメインボタンを5秒以上長押しするとペアリングモードになります。

ステップ2:

他社製品の本体をオンにし、スマートフォンのペアリング方法でペアリングを起動します。



ステップ3:

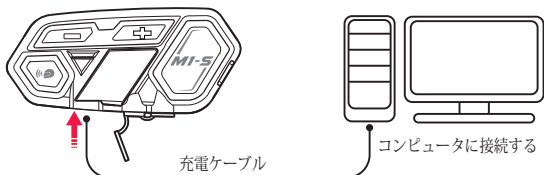
ペアリング完了後、メインボタンと通話ボタンがゆっくり青く点滅します。他社製品とのヘッドセットとのペアリングが完了すると音声通話できます。

注意:他社製品のソフトウェアとの互換性の問題により、他社製品のヘッドセットはM1シリーズのヘッドセットをスマートフォンとして使用します。通話がオンになっている場合、他社製品のヘッドセットは電話に応答することができません。

ヘッドセットソフトウェアのアップデート

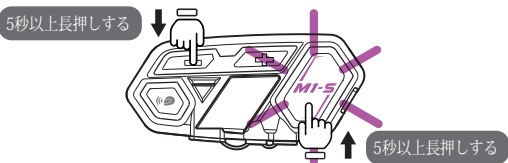
ステップ1.

DIMTONのオフィシャルウェブサイトからアップデートするソフトウェアのバージョンをダウンロードします。(アップデートファイルは実行ファイルです。ウイルス対策ソフトが誤ってプログラムを削除しないよう、アップデートプロセスが完了するまで、ウイルス対策ソフトとファイアウォールをオフにしてください)



ステップ2.

電源オフの状態で、本体に充電ケーブルを挿し、もう一方をコンピュータに接続します。(Macではご利用いただけません)



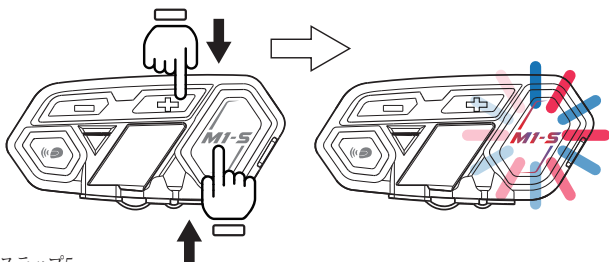
ステップ3.

メインボタンの紫ランプの点滅が消えるまで、メインボタンと-ボタンを5秒以上長押しします。

ステップ4.

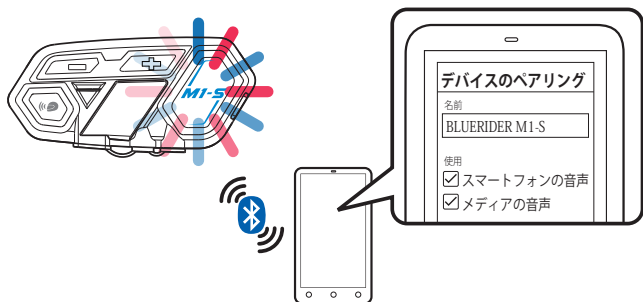
コンピュータでダウンロードしたアップデートソフトウェアをインストールします。ステップに従いインストールし、0%~100%まで実行されるとアップデートが開始します。(99%の際、特に時間がかかりますのでしばらくお待ちください。アップデート中は電源を切らないでください)

メインボタンと+ボタンを同時に5秒以上長押しする



ステップ5.

完了したら充電ケーブルを抜きます。電源オフの状態でもメインボタンと+ボタンを長押しすると、ヘッドセットのペアリング情報がクリアされます。クリア完了後、10秒後に再起動します。



ステップ6.

再度ご利用のスマートフォンとBluetoothデバイスをペアリングすると正常に動作します。

注意: 当社のソフトウェアをすべてのバージョンにアップデートする必要はありません(例: 1.7にアップデートする場合、1.5、1.6へのアップデートは必要ありません)。また、バージョンダウンできないという問題もありません。アップデートに失敗して起動しなくなった場合、再度コンピュータに接続し、もう一度アップデートプログラムを実行してください。

M1-S (EVO) ***M1*** (EVO)

Bluetooth Stereo Headset

ヘルメットBluetooth
ヘッドセット

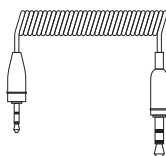


操作マニュアル

アクセサリ内容



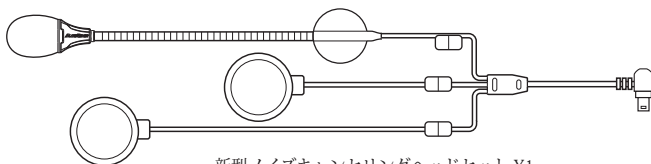
操作/取り付けマニュアル X1



2.5→3.5オーディオケーブル



USB充電ケーブル X1



新型ノイズキャンセリングヘッドセット X1



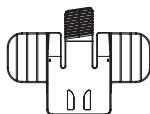
丸形面ファスナー(大) X2



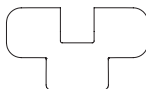
丸形スポンジカバー X2



長方形面ファスナー X1



裏面クリップ X1(EVO)



裏面クリップ接着テープ X1(EVO)



金属クリップ X1(EVO)



3Mスナップ X3(非EVO)

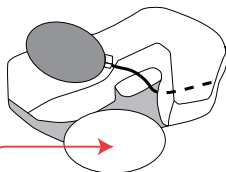
スピーカーの取り付け

ヘルメットを上から見た図

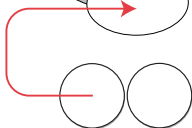
短いケーブルが左側です

長いケーブルが右側です

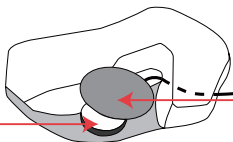
EU安全規格を満たしたスピーカーは個別に取り外すことができます。最高のサウンドを得るためにスピーカーが耳につくことを確認してください。



ヘルメットの耳当てが耳に近い場合、丸形面ファスナーで直接貼り付けることができます。



丸形面ファスナー(大) X2

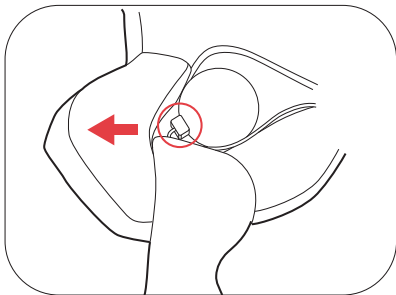


ヘルメットの耳当てが耳から遠い場合、先に丸形スポンジカバーを貼り、スピーカーがフィットするようにしてください。



丸形スポンジカバー X2

丸形面ファスナー(大) X2



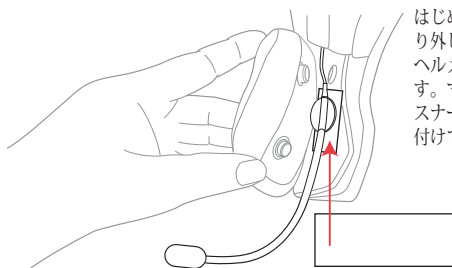
快適にヘルメットが着用できるよう、図のようにスピーカーを貼り付けます。貼り付け時にスピーカーが耳に引っかからないようにご注意ください。



最高のサウンドを得られるよう、スピーカーが耳の中央にくるよう取り付けられているか確認してください。

マイクの取り付け

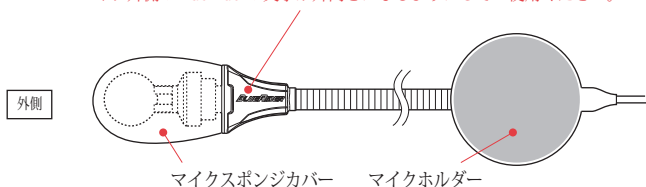
ヘルメットの裏地図



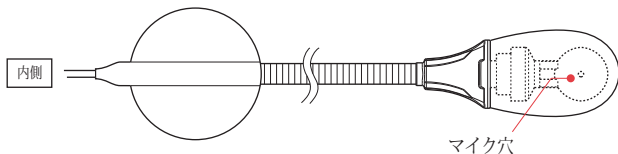
長方形面ファスナー X1

はじめにヘルメットの裏地を取り外し、長方形面ファスナーをヘルメットの裏地に貼り付けます。マイクの円板部分を面ファスナーに貼り付け、裏地を取り付けてマイクを固定します。

マイク外側のBlueRiderの文字が外向きになるようにしてご使用ください。



マイク構造図



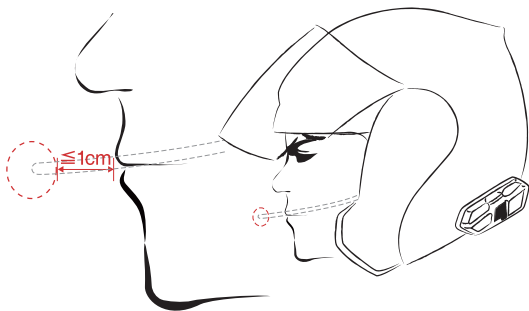


▲ マイクの位置を口の正面にします。



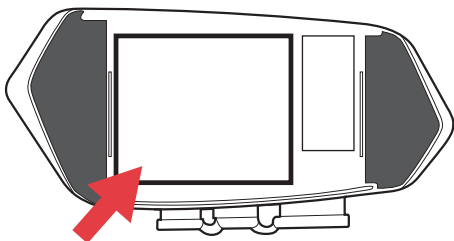
▲ マイクがずれていると集音効果が悪くなります。

マイクは弾力性のあるノイズキャンセリング構造で、風切り音と物理的な振動を大幅に軽減します。マイク外側のBlueRiderの文字が外向きになるようにしてご使用ください。

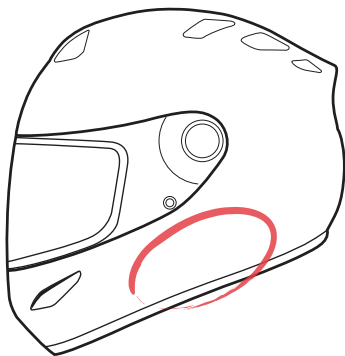


マイクの位置が口の正面に来るように調整します。また、口との距離を約1cmにすると最高の効果を得られます。

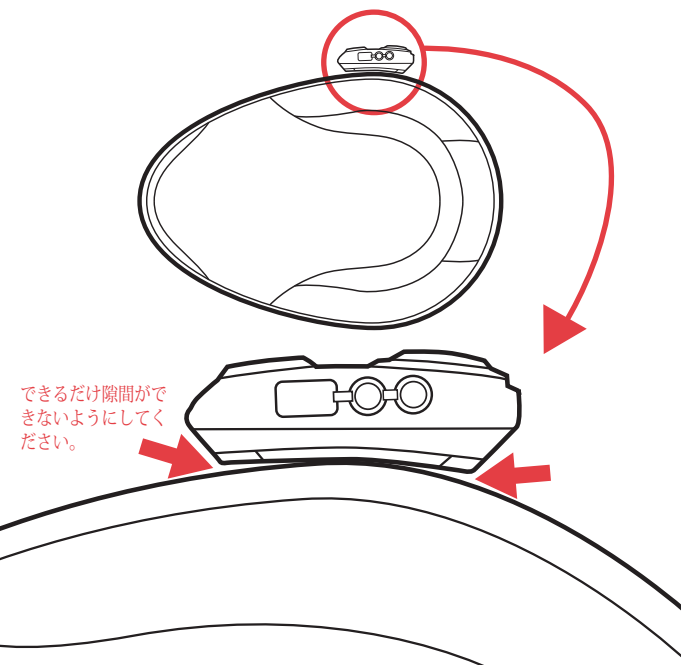
本体の取り付け (M1/M1-S スナップ)



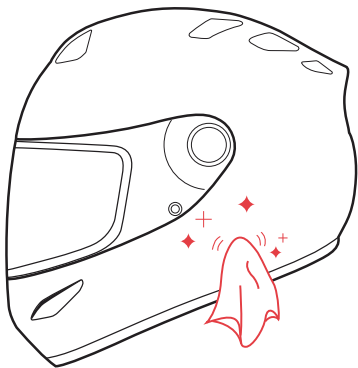
スナップは製品の出荷時点で製品の裏面に貼り付けられています。



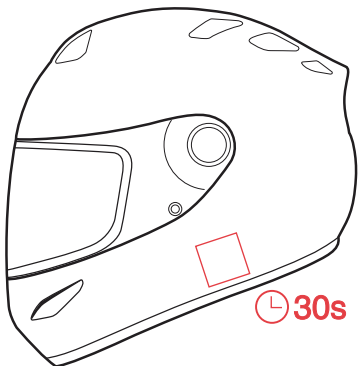
まず取り付ける位置を比較し、曲面が大きすぎないか確認してください。外付けの接続ケーブルを使用する場合、ケーブルの長さ分を確保するため、本体を少し高い位置に取り付け、ヘルメットを置いた時にコードが本体に当たらないようにしてください。



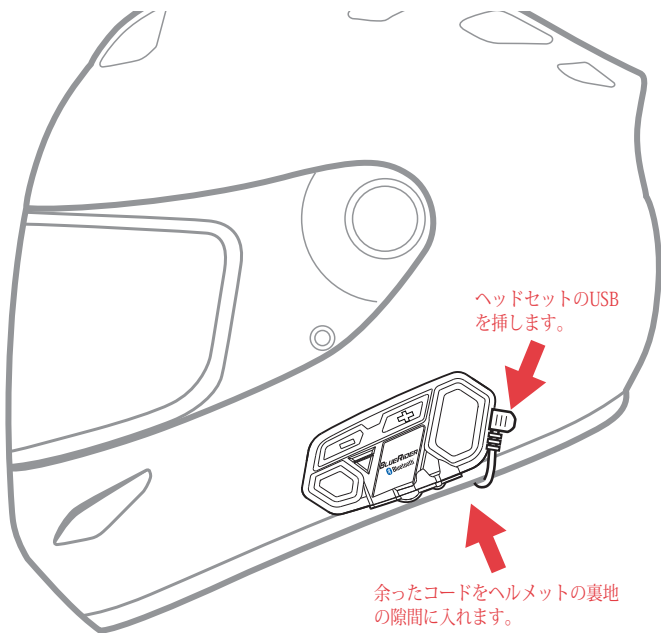
先に本体の位置決めをすることができますが、本体両側の曲面が大きすぎないか注意してください。曲面が大きすぎると脱落しやすくなる場合があります。背面とシェルの隙間が小さくなる場所が取り付けに適しています。



位置の決定後、最高の粘着効果が得られるよう貼り付け位置をきれいに拭きます。



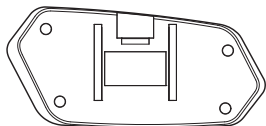
次に、決めた位置にスナップを貼り付け、しっかりと貼り付くように30秒そのままにします。



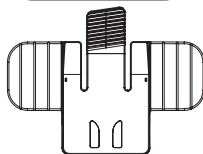
本体裏面のスナップとヘルメットのスナップをしっかり押して組み合わせます。次にヘッドセットのUSBを本体に挿し、余ったケーブルを裏地の中に入れます。

本体を取り付ける (EVO-裏面クリップ)

Mシリーズ EVO/E-one本体裏面



ホルダー表面

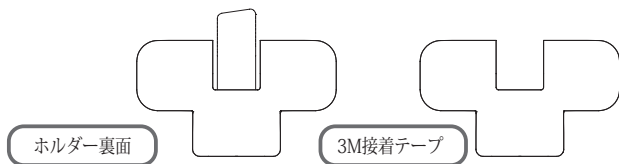


本体裏面はスライド式的设计になっています。ホルダーはヘルメットの外側の比較的平らな場所を選んで貼り付けてください。



まず取り付ける位置を比較し、曲面が大きすぎないか確認してください。外付けの接続ケーブルを使用する場合、ケーブルの長さ分を確保するため、本体を少し高い位置に取り付け、ヘルメットを置いた時にコードが本体に当たらないようにしてください。

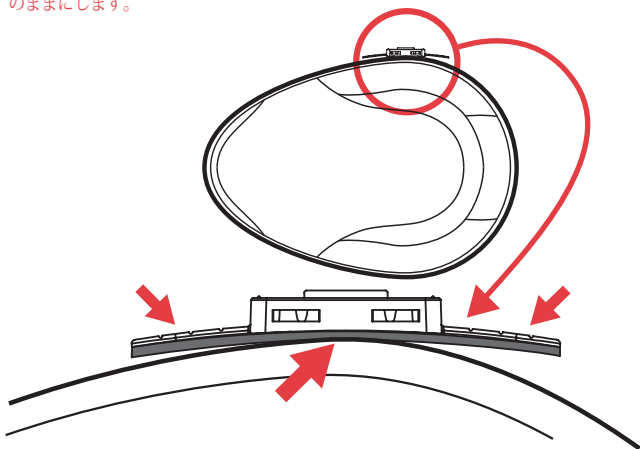
ステップ1 接着テープとホルダーを貼る



はじめに3M接着剤をホルダーの裏面に貼り、次にヘルメットの外側に貼ります。

位置の決定後、最大の粘着効果を得られるよう、はじめにシェルを清潔にしてください。

次に、取り付ける位置にスナップを貼り付け、しっかりと貼り付くように30秒間そのままにします。



裏面クリップの中央を押さえてから、左右の柔らかい部分を押さえます。

ステップ 2 本体をホルダーに取り付ける

1.ホルダーが固定されているのを確認し、
本体を所定の位置までスライドして取り付
けます。

2.スピーカーのコー
ドを挿し込みます。

3.余ったコードをヘルメットの
裏地の中に入れます。

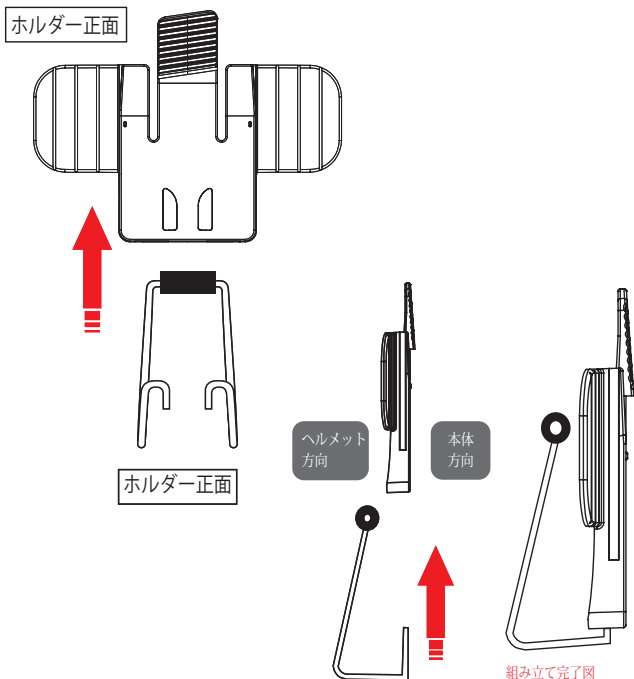
本体を裏面のレールから所定の位置にスライドさせ、次にマイクのケーブルを挿し、
外に出たコードを裏地の中に入れば取り付け完了です。

本体の取り付け (EVO-金属クリップ)

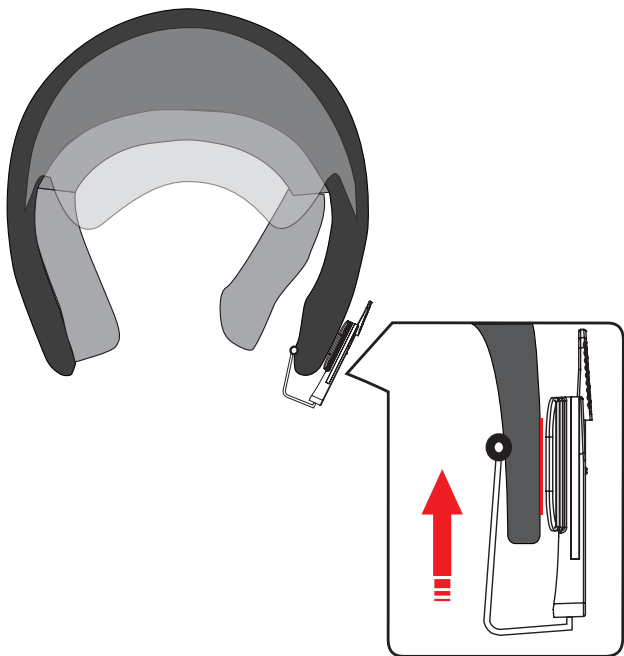
金属クリップは取り付けるのではなく、ヘルメットのシェルに留めます。

ステップ 1 金属クリップの取り付け

はじめに金属クリップをホルダーに取り付けます。取り付け後は取り外すことができませんので、取り付け方向にご注意ください。



ステップ 2 ホルダーをヘルメットに取り付けます

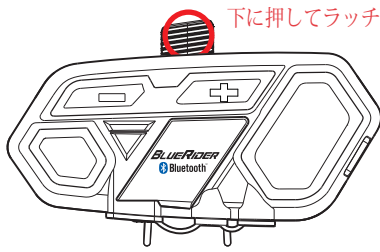


裏面クリップのホルダーを使用する場合、はじめにシェルの裏地を取り外し、金属裏面クリップをしっかりと開き、金属裏面クリップをシェルと裏地の隙間に滑り込ませます。

ステップ3 本体をホルダーに取り付ける



1.ホルダーが固定されているのを確認し、
本体を所定の位置までスライドして取り付
けます。



下に押してラッチを外します。

本体を取り外す場合、留め具の上部を後ろに押し、本体がレールから離れたのを確認してから取り外してください。



DIMTON(鼎騰科技)
公式Facebookページ



DIMTON(鼎騰科技)
公式ウェブサイト



DIMTON(鼎騰科技)
公式Instagram